

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 全共役型環状高分子の化学の開拓
2. 研究代表者： 茅原 栄一（京都大学 化学研究所 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、構造が制御された、全共役型構造を持つ新しい環状高分子を自在に合成するための新たな重合法の開発を目指している。フェーズ1では、環状高分子をリビング的に合成する手法の開発に挑戦し、リビング重合に近い系を見出すことに成功している。難しい課題に挑戦し、かつ萌芽的な成果を得ることができており、十分な成果であると言える。フェーズ2では、リビング重合により環状高分子の合成を達成する反応開発を継続するとともに、合成した環状高分子の物性の理解や材料として利用するための展開にも取り組み、独自の反応開発に基づく物質創出を目指している。挑戦的かつ良く練られた計画であると評価する。共同研究等で基礎物性を探索し、単分散の環状高分子ならではの有意義な特徴を明らかにすることに期待する。

以上